

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

(2024.04.01~2024.09.30)

JBCCホールディングス株式会社
証券コード:9889(東証プライム市場 情報・通信業)

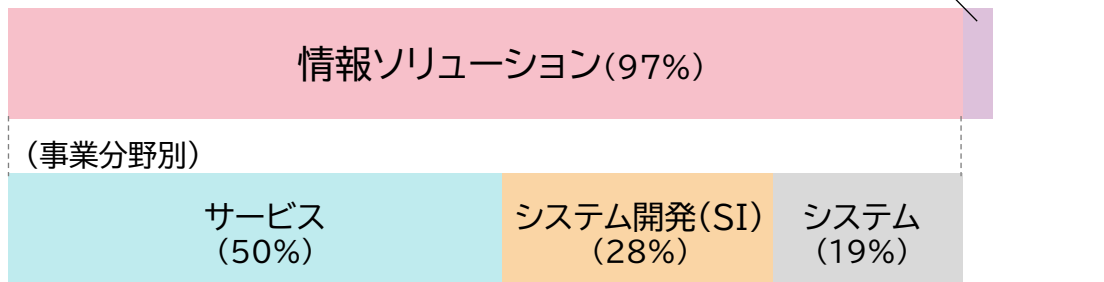
2024年10月31日
(2024年11月13日 一部訂正)

企業のデジタル・トランスフォーメーションを実現するため、お客様の環境に合わせてクラウド&セキュリティ、超高速開発等、ITに関するサービスを提供

社名 : JBCCホールディングス株式会社
 [東証プライム市場 情報・通信業 9889]
 設立 : 1964年4月1日
 資本金 : 47億13百万円
 社員数 : 1,962名 [有期社員を含む連結]
 事業会社 : 9社 (国内 47拠点、海外 4拠点)

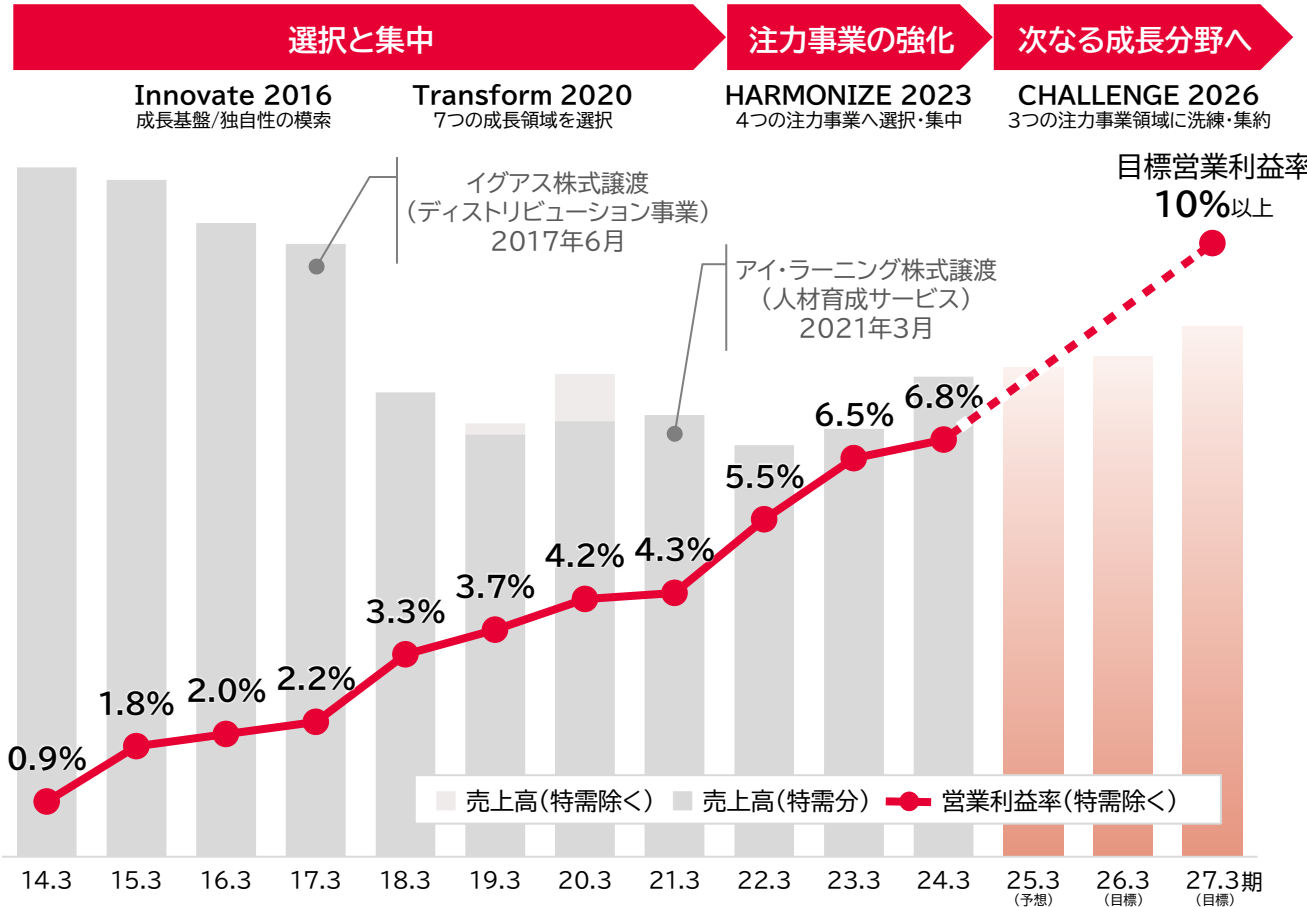
JBCC株式会社 / JBサービス株式会社 / 株式会社シーアイエス / 株式会社ソルネット /
 JBパートナーソリューション株式会社 / JBアドバンス・テクノロジ株式会社 /
 佳報(上海)信息技术有限公司 / JBCC(Thailand) Co., Ltd. / C&Cビジネスサービス株式会社

事業セグメント :



※2024年10月1日現在

<事業構造変革の歩み>



AGENDA

- 2025年3月期 上期決算概要
および2025年3月期 業績予想・配当予想
- 中期経営計画「CHALLENGE 2026」進捗状況

事業構造変革を推進、 「CHALLENGE 2026」好調なスタート

注力事業が牽引し、前年同期比増収増益

前年同期比 売上高 **+8.6%**、営業利益 **+39.5%**

事業構造変革の推進により、収益力が向上

前年同期比 営業利益率 **+2.0pts**

期初計画を上回る進捗状況から、業績・配当予想を上方修正

増減率 営業利益 **+13.7%**、当期純利益 **+14.2%** 期末配当予想 **+18円**

2025年3月期上期 業績概況

2024年11月13日訂正
(訂正箇所は下線を付して表示)

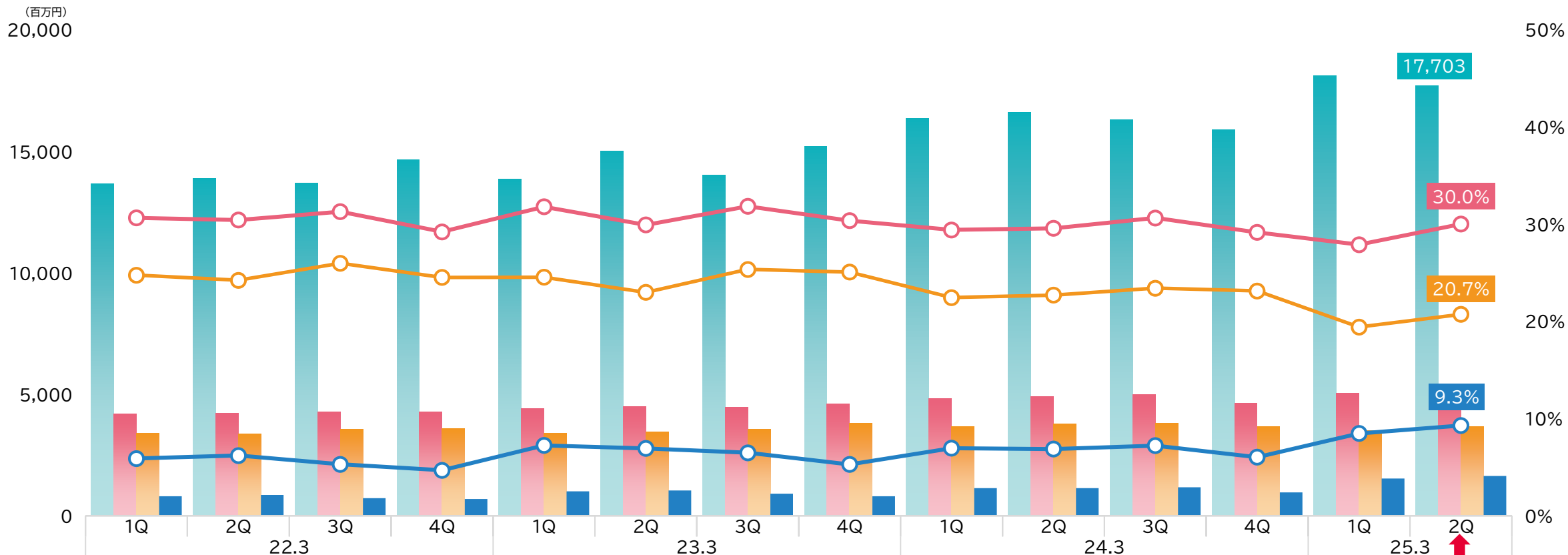
- 注力事業(クラウド、セキュリティ)が牽引し、前年同期比増収増益
- 事業構造変革の推進により収益力が向上

(百万円)

	2024年3月期 上期実績	2025年3月期 上期実績		2025年3月期 予想	予想に対する 進捗率
		2025年3月期 上期実績	前年同期比		
売上高	32,971	35,822	+8.6%	66,500	53.9%
営業利益	2,282 (6.9%)	3,182 (8.9%)	+39.5% (+2.0pts)	5,100	<u>62.4%</u>
経常利益	2,386 (7.2%)	<u>3,321</u> (9.3%)	<u>+39.2%</u> (+2.0pts)	5,200	<u>63.9%</u>
親会社に帰属する 中間純利益	1,693 (5.1%)	<u>2,307</u> (6.4%)	<u>+36.2%</u> (+1.3pts)	3,590	<u>64.3%</u>

2024年10月31日の業績予想修正前

()内は利益率を示します。



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	13,687	13,883	13,710	14,653	13,874	15,015	14,045	15,209	16,359	16,611	16,309	15,913	18,118	17,703
売上総利益	4,199	4,228	4,293	4,284	4,415	4,497	4,475	4,622	4,816	4,917	5,002	4,645	5,059	5,318
販管費	3,391	3,367	3,565	3,596	3,409	3,454	3,564	3,818	3,676	3,774	3,822	3,683	3,522	3,672
営業利益	807	861	727	687	1,005	1,043	911	804	1,139	1,142	1,179	961	1,536	1,645
売上総利益率	30.7%	30.5%	31.3%	29.2%	31.8%	30.0%	31.9%	30.4%	29.4%	29.6%	30.7%	29.2%	27.9%	30.0%
販管費率	24.8%	24.3%	26.0%	24.5%	24.6%	23.0%	25.4%	25.1%	22.5%	22.7%	23.4%	23.1%	19.4%	20.7%
営業利益率	5.9%	6.2%	5.3%	4.7%	7.2%	6.9%	6.5%	5.3%	7.0%	6.9%	7.2%	6.0%	8.5%	9.3%

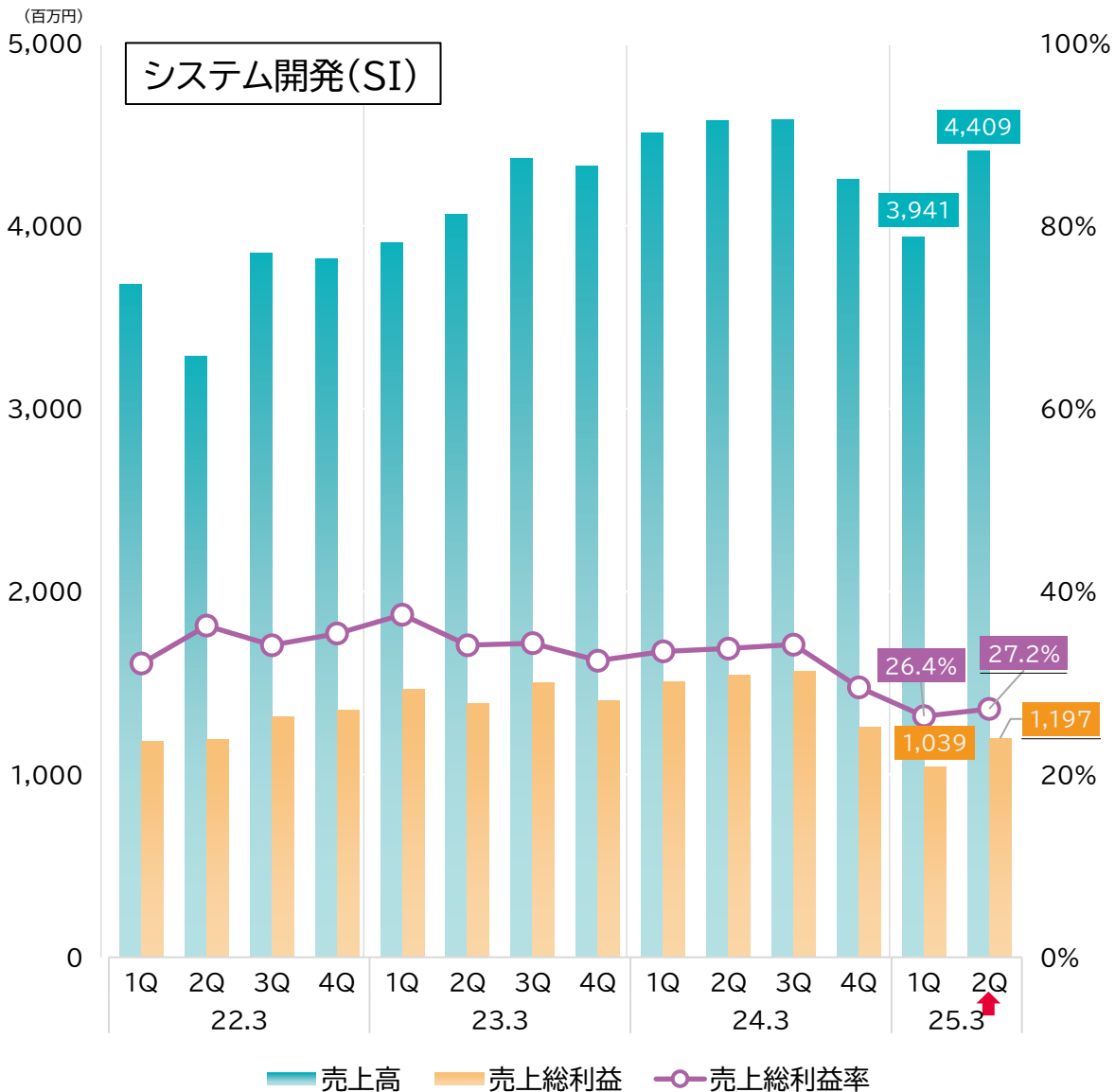
2025年3月期上期 事業分野別の状況

2024年11月13日訂正
(訂正箇所は下線を付して表示)

- システム開発(SI) :超高速開発での前期末に発生した遅延プロジェクトへの対応に集中し、前年同期比マイナス
- サービス :注力事業であるクラウド、セキュリティが好調に推移、付随する導入・移行サービスも増加し、大きく成長
- システム :お客様のシステム更改によるハードウェアの刷新が重なり、期初予想を上回る成長

(百万円)

事業分野 (各事業分野に含む注力事業)	2025年3月期上期					
	売上		売上総利益		売上総利益率	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
情報ソリューション	34,879	+8.9%	<u>9,761</u>	<u>+6.9%</u>	<u>28.0%</u>	<u>△0.5pts</u>
SI (超高速開発)	8,350	△8.1%	<u>2,236</u>	<u>△26.7%</u>	<u>26.8%</u>	<u>△6.8pts</u>
サービス (クラウド、セキュリティ)	18,882	+18.5%	<u>5,902</u>	<u>+30.3%</u>	<u>31.3%</u>	<u>+2.8pts</u>
システム	7,647	+9.2%	1,621	+4.8%	21.2%	△0.9pts
製品開発製造	942	△1.0%	616	+2.2%	65.4%	+2.1pts
合計	35,822	+8.6%	<u>10,377</u>	<u>+6.6%</u>	<u>29.0%</u>	<u>△0.6pts</u>



注力事業「超高速開発」については、後述の中期経営計画進捗状況内をご参照ください。

システム開発(SI)

システム開発の領域を指し、注力事業「超高速開発」を含む収益性の改善に重点を置き、マイクロアセットの適用率を上げることで、品質と生産性の向上に取り組む

事業の特性

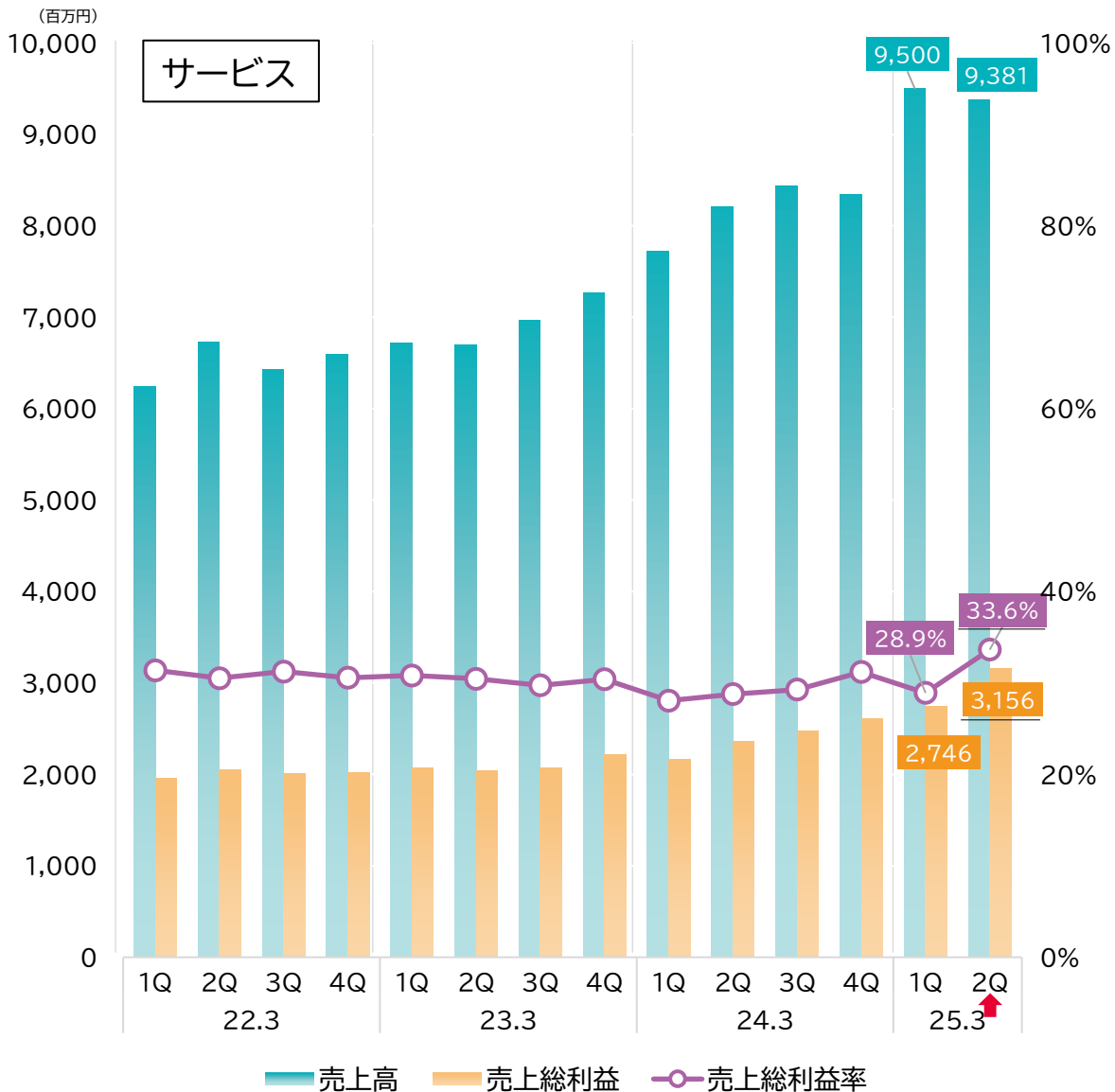
- 当社独自の「超高速開発」へのシフトを進めており、ローコード開発への取り組みと480件を超える導入実績から、ここ数年で基幹システム再構築の案件規模が大型化の傾向
- 従来型の開発には、大手メインフレーム上で稼働する古い業務システムをIBM製オフコンへ移行(モダナイゼーション案件)があり、長年の豊富な実績と経験を元に当社の強みを発揮。他、電子カルテ/医事会計を中心とする病院情報システムの開発(ヘルスケア)を含む。

足元の状況

- 超高速開発はでの基幹システム開発案件の案件大型化に伴い課題が顕在化(業務理解や品質確保)。人的リソースを集中投入して対応を進める(継続)
- 従来型開発は計画通りに進捗
旧汎用機からオフコンへの基幹システムマイグレーション(モダナイゼーション)の大型案件が3件進行中
- その他、各種施策により、業績・収益性の改善取り組み
販管費削減 / 既存保守・常駐契約の価格改定(価格の適正化)
- 以上の状況から、2Q売上高は復調を開始 QoQ +11.9%

今後の取組

- 注力4業種(学習塾、建材業、鉄鋼業、食品業)のマイクロアセットサービス化を推進、品質と生産性の向上を目指すと共に、業種知識の醸成を進める
- 超高速開発を含むSIの業績について、年後半での正常化を見込む



注力事業「クラウド」「セキュリティ」については、後述の中期経営計画進捗状況内をご参照ください。

サービス

システム基盤関連やクラウドサービス、セキュリティサービスの導入・運用関連の領域を指し、注力事業「クラウド」「セキュリティ」(ストックビジネス)を含む

「クラウド」「セキュリティ」を中心としたストックビジネスを拡大し、継続的な成長基盤の確立を目指す。関連する構築・移行といったスポット対応を含む。

事業の特性

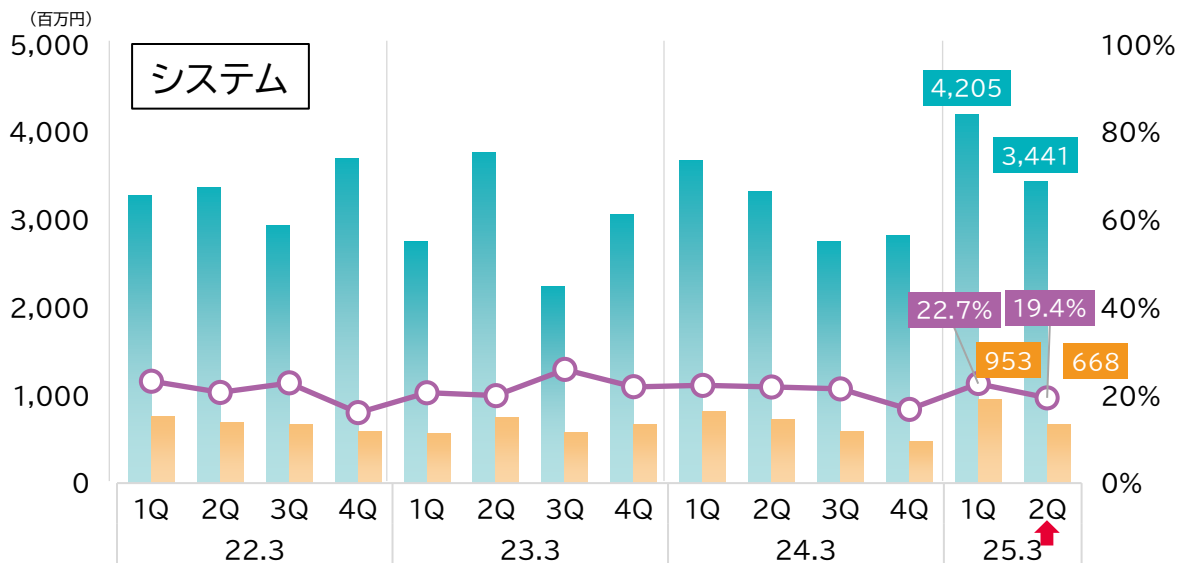
- 「クラウド」「セキュリティ」共に、高い市場成長とお客様需要が継続しており、受注を積み上げることで、ストックビジネス比率を向上
- ITインフラ環境の初期構築や環境・データの移行等、スポット対応の役務があり、フロー型のビジネスモデルに該当するが、「クラウド」「セキュリティ」を中心としたストックビジネスが締める割合が大きく、総合すると右肩あがりの成長分野。

足元の状況

- 「クラウド」「セキュリティ」は高成長を継続
1Q 売上高 クラウド YoY+48.5% セキュリティ YoY+37.6%
2Q 売上高 クラウド YoY+45.2% セキュリティ YoY+36.1%
- 注力事業を除く売上高は、2Qは前年と同水準を維持
※1QはSI分野の業績をリカバリするため、作業の前倒し等を進めて大きく成長
- 収益性については、「クラウド」「セキュリティ」を中心とした高付加価値ビジネスの拡大に加え、スポット対応での標準化推進・生産性や品質向上など取り組みが寄与し利益率改善。SE人件費増加等に伴う適切な価格転嫁。

今後の取組

- 「クラウド」「セキュリティ」の高付加価値醸成やSEのスキルアップ・スキルシフトを推進、年間を通じた継続成長を見込む

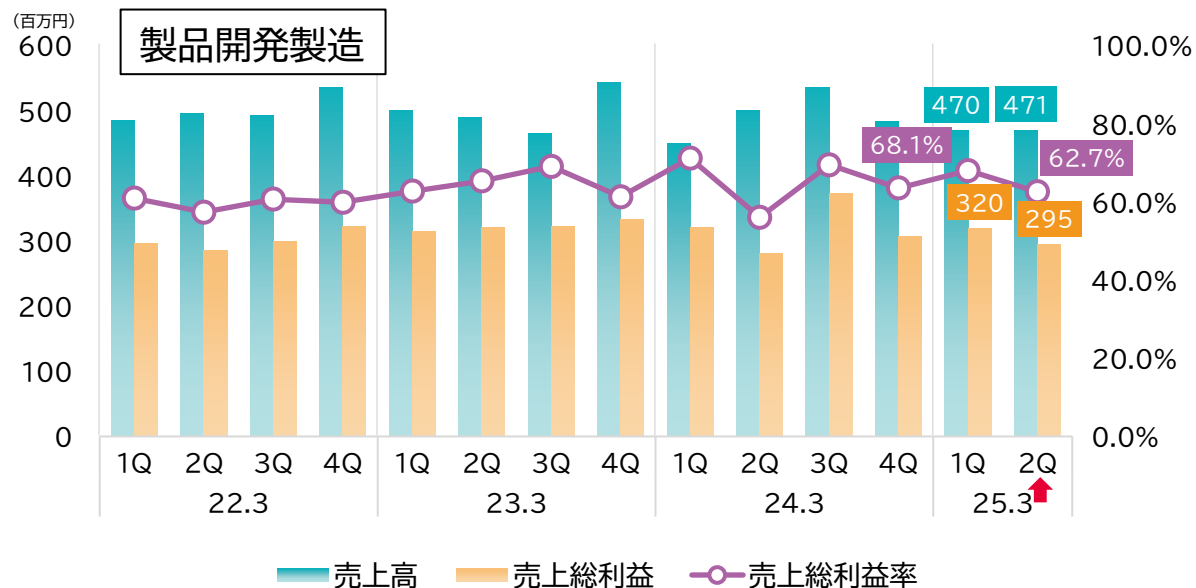


システム

サーバ、ネットワーク機器等のハードウェアや、ソフトウェア・ライセンスの販売

クラウド化の加速に伴い、ハードウェア販売は中長期では減少傾向

- 1Qは、お客様のシステム更改によるハードウェアの刷新が重なり、売上・売上総利益共に前年同期比二桁成長。2Qも1Qに引き続き、期初計画を上回る進捗で、売上成長を底上げ
25.3 売上高期初計画 11,250百万円 1H 実績 7,647百万円 (進捗率 68%)
- 通期では、期初計画値(11,250百万円)～前期実績並(12,581百万円)の進捗を見込む



製品開発製造

独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売

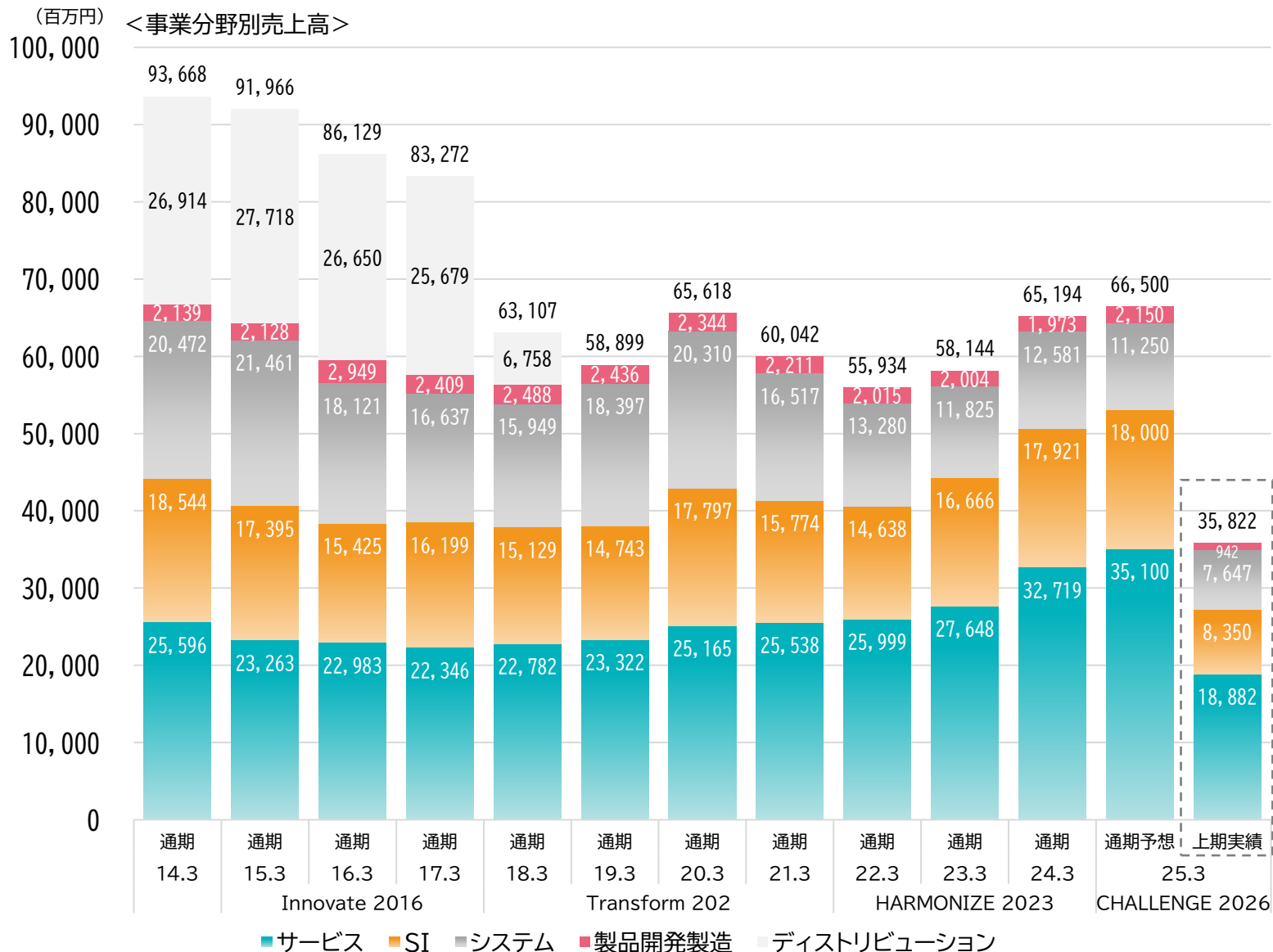
- オリジナルソフトウェアのストック化を推進、ソフトウェア分野は成長傾向
- プリンタ等ハードウェア分野は減少傾向

- ソフトウェア分野は、1H 売上高 YoY+18%
主力サービスであるクラウドデータ連携基盤「Qanat Universe」(カナートユニバース)は、国内の主要な業務系SaaSにデータ連携機能を提供するビジネスを展開、連携先SaaSの拡充

- タレントマネジメントシステム「HRBrain」、Qanat Universeを活用したCSV連携プラットフォームを提供開始(2024年7月発表) <https://www.jbat.co.jp/topics/20240718.html>

- ハードウェア分野は、1H 売上高 YoY-14%

事業分野別業績推移 - 事業構造変革で収益性を改善

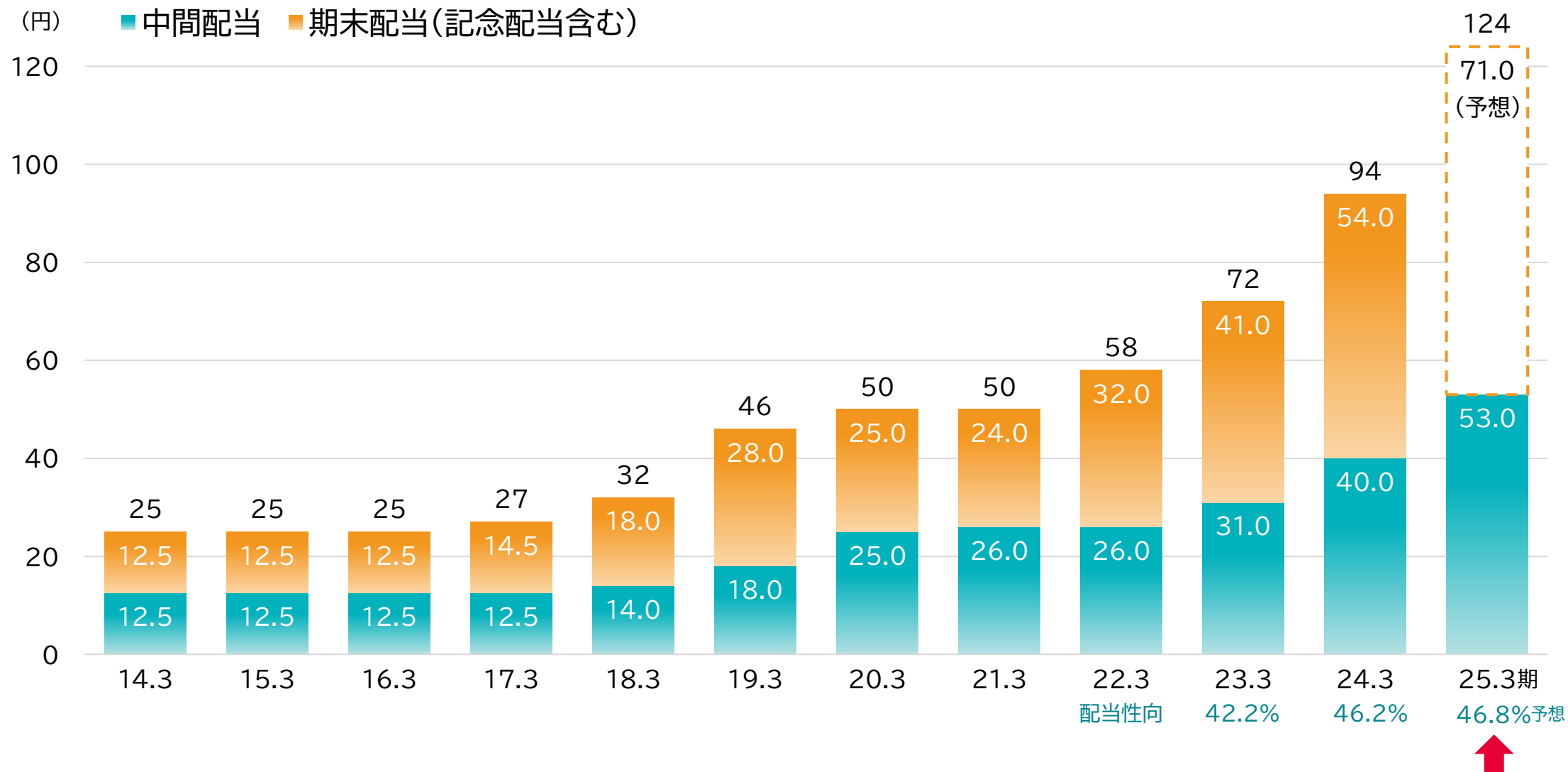


事業分野	売上総利益率		
	14.3期	24.3期	比較(pts)
■ ディストリビューション	11.7%	—	—
■ 製品開発製造	53.9%	65.1%	+11.2pts
■ システム	16.6%	20.8%	+4.2pts
■ システム開発(SI)	17.9%	32.8%	+14.9pts
■ サービス	24.4%	29.4%	+5.0pts
合計	18.4%	29.7%	<u>+11.3pts</u>

2025年3月期 業績予想・配当予想

(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期			
		期初予想	修正予想	修正増減率	修正後前期比
売上高	65,194	66,500	66,500	修正なし	+2.0%
営業利益	4,422 (6.8%)	5,100 (7.7%)	5,800 (8.7%)	+13.7%	+31.1% (+1.9pts)
経常利益	4,549 (7.0%)	5,200 (7.8%)	5,900 (8.9%)	+13.5%	+29.7% (+1.9pts)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,187 (4.9%)	3,590 (5.4%)	4,100 (6.2%)	+14.2%	+28.6% (+1.3pts)
()内は利益率を示します。					
中間配当	40円	(実績) 53円	(実績) 53円	—	—
期末配当	54円	53円	71円	+18円	+17円
年間配当	94円	106円	124円	+18円	+30円
配当性向	46.2%	45.7%	46.8%	+1.1pts	+0.6pts



(百万円)

■連結業績	2025年3月期上期実績		
	訂正前	訂正後	訂正差額
売上高	35,822	35,822	修正なし
売上総利益	10,308	10,377	+68
(売上総利益率)	(28.8%)	(29.0%)	(+0.2pts)
販売管理費	7,245	7,194	△51
(販売管理費率)	(20.2%)	(20.1%)	(△0.1pts)
営業利益	3,062	3,182	+119
(営業利益率)	(8.6%)	(8.9%)	(+0.3pts)
経常利益	3,201	3,321	+119
(経常利益率)	(8.9%)	(9.3%)	(+0.3pts)
親会社に帰属する 中間純利益	2,219	2,307	+87
(中間純利益率)	(6.2%)	(6.4%)	(+0.2pts)

(百万円)

■事業分野別			2025年3月期上期実績		
			訂正前	訂正後	訂正差額
情報ソリューション	SI	売上高	8,350	8,350	修正なし
		売上総利益	2,276	2,236	△39
		(売上総利益率)	(27.3%)	(26.8%)	(△0.5pts)
	サービス	売上高	18,882	18,882	修正なし
		売上総利益	5,794	5,902	+108
		(売上総利益率)	(30.7%)	(31.3%)	(+0.6pts)
	システム	売上高	7,647	7,647	修正なし
		売上総利益	1,621	1,621	修正なし
		(売上総利益率)	(21.2%)	(21.2%)	修正なし
	合計	売上高	34,879	34,879	修正なし
		売上総利益	9,692	9,761	+68
		(売上総利益率)	(27.8%)	(28.0%)	(+0.2pts)
製品開発製造	売上高	942	942	修正なし	
	売上総利益	616	616	修正なし	
	(売上総利益率)	(65.4%)	(65.4%)	修正なし	
合計	売上高	35,822	35,822	修正なし	
	売上総利益	10,308	10,377	+68	
	(売上総利益率)	(28.8%)	(29.0%)	(+0.2pts)	

AGENDA

- 2025年3月期 上期決算概要
および2025年3月期 業績予想・配当予想
- 中期経営計画「CHALLENGE 2026」進捗状況

～ 注力事業の進化・深化、経営基盤の強化・高度化に挑戦する3年間 ～

継続的成長
売上高 720億円以上

クラウド、セキュリティを中心に、ストックビジネス*の比率を40%(2024年3月期)から60%に拡大することにより、**事業構造変革を更に加速させ、継続的な成長**を実現します。

収益性の向上
営業利益率 10%以上

独自の開発手法である「超高速開発」における、マイクロアセットサービスの推進とアセット適用率向上、並びにストックビジネスにおける高付加価値サービスの提供により、**収益性の向上**を実現します。

経営基盤の強化・高度化

人財への投資、ガバナンスの強化、DXの加速、リスクマネジメント体制の高度化により、柔軟で強固な経営基盤を構築し、**経営品質の向上**を推進します。

株主還元方針
配当性向 45%以上

利益率の向上および資産効率を高めることで、健全な財務基盤を維持し、**長期的な株主還元**を実現します。

*ストックビジネスには、クラウド、セキュリティ、運用/保守/監視等サービス、月額型ソフトウェアやその保守サービスを含みます。

「CHALLENGE 2026」全体像

- さらなる成長と高い収益性を実現するため、注力事業の進化・深化により事業構造の変革を更に加速
- 成長を支え、環境変化への耐性を備えた経営基盤の強化・高度化
- 人財及び新たなビジネス領域の拡大に向けて経営資源を投下

事業構造の変革を加速

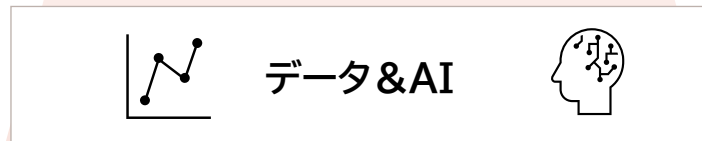
3つの注力事業に洗練・集約
データ&AIの活用による進化・深化



成長性

収益性

+



新たな価値創造

- 売上高に占める
ストックビジネス比率*

40%

HARMONIZE 2023
(2024年3月期)

60%

CHALLENGE 2026
(2027年3月期)

- 営業利益率

7%

HARMONIZE 2023
(2024年3月期)

10%

CHALLENGE 2026
(2027年3月期)

経営基盤の強化・高度化

人財および新たなビジネス領域の
拡大に向け経営資源を投下

人財・組織の
強化・高度化

ガバナンスの強化

DXの加速

リスクマネジメント
体制の高度化

サステナビリティの取り組み

4つのマテリアリティに対する活動・実行

社会に貢献する
人財の育成

高い品質と
技術力の強化

安心/安全な
企業体質の強化

環境に配慮した
社会の実現

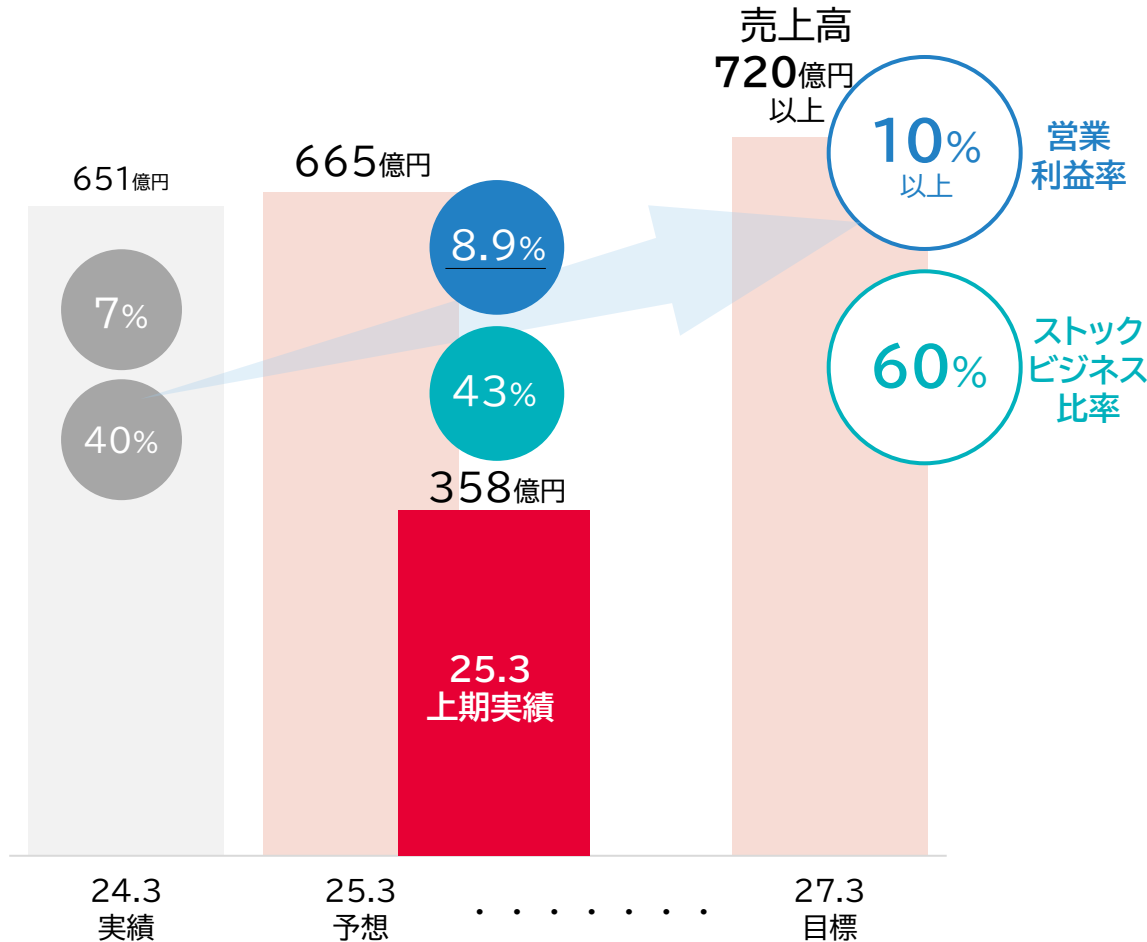
*ストックビジネスには、クラウド、セキュリティ、運用/保守/監視等サービス、月額型ソフトウェアやその保守サービスを含みます。

中期経営計画に対する進捗サマリー

2024年11月13日訂正
(訂正箇所は下線を付して表示)

□ 経営目標

- 事業構造変革を推進、新中計好調なスタート
- 配当性向は目標値の45%以上、年間配当124円予想(前期比+30円)



□ 注力事業

- 各注力事業のKPIに対して、概ね堅調に推移
- 重点施策の更なる推進と、課題解消の両面に注力

	2025年3月期 上期実績	CHALLENGE 2026 業績評価指標
クラウド	売上高前年同期比 +47%	売上高CAGR* 36%
セキュリティ	売上高前年同期比 +37%	売上高CAGR* 30%
超高速開発	超高速開発比率 58%	超高速開発比率 75%

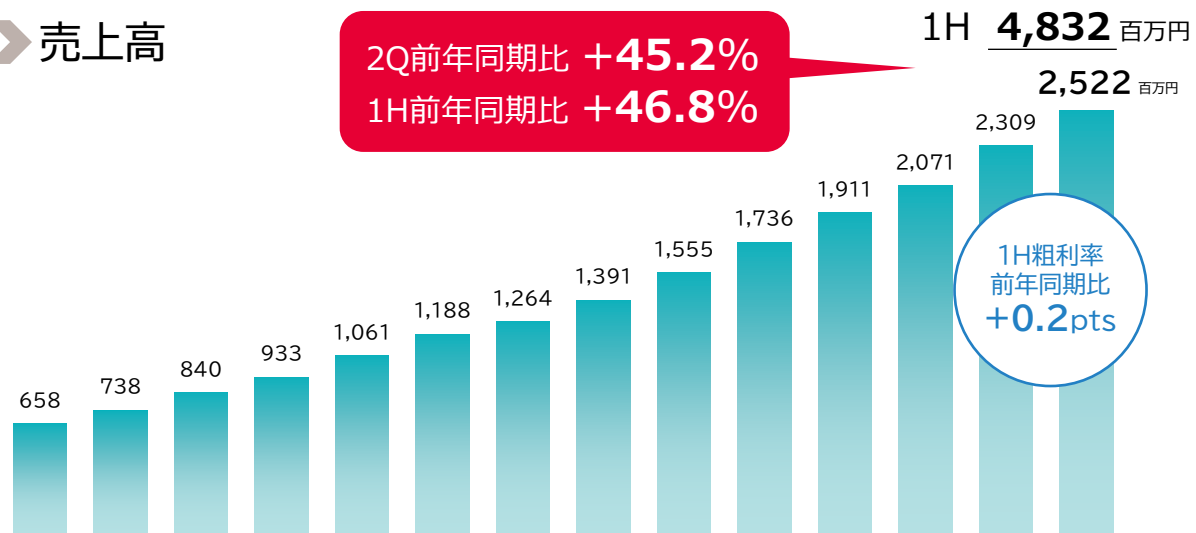
*'23/'26

□ 人財戦略

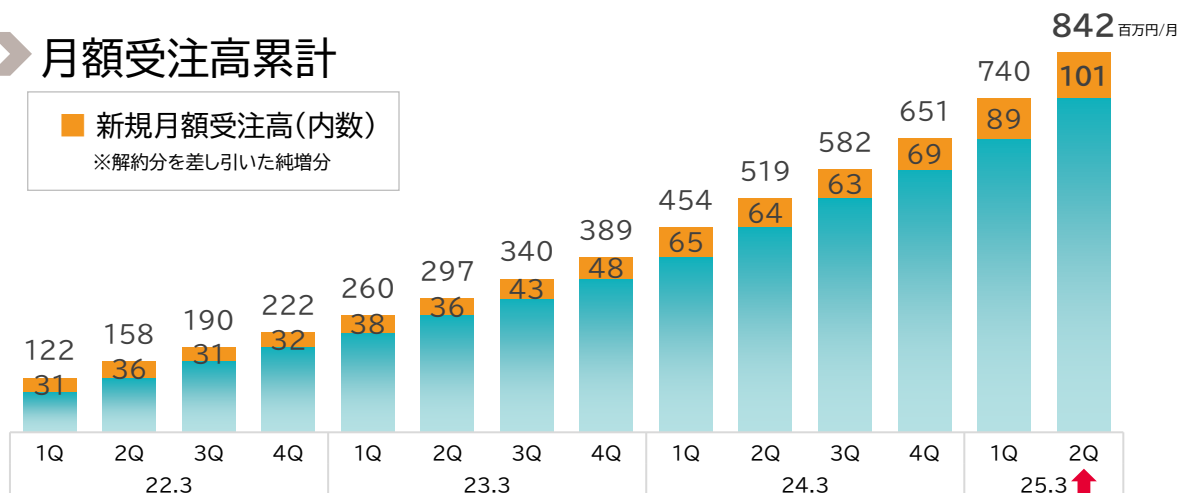
- '25年新卒採用は計画通りの73人、女性比率41%
- 人財戦略投資予算は、初年度の計画通りに遂行
- JBCCアカデミー開講

中期経営計画KPI ▶ 売上高 CAGR 36%(24.3-27.3) ▶ 売上総利益率 +1pts/年

売上高



月額受注高累計



市場環境
顧客需要

- クラウドファーストやマルチクラウドの企業増加

上期結果振り返り

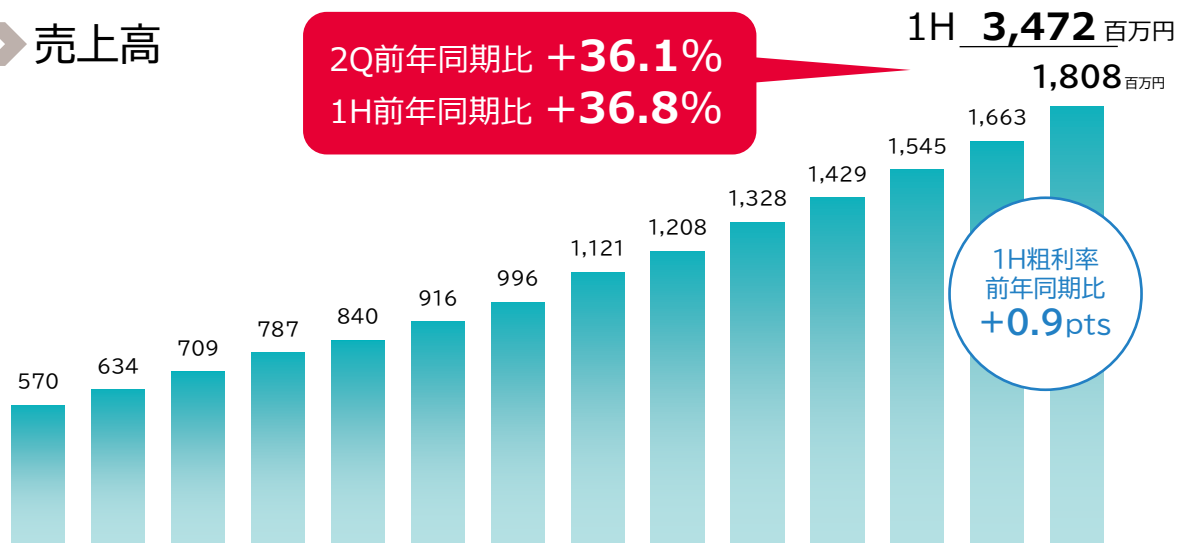
- 2Q新規月額受注高は過去最高を更新、運用&コスト最適化付クラウドサービス「EcoOne」が好調
 - 新規月額受注高 100万円/月以上の案件が約4割
 - クラウド顧客 上期120社増加
 - 既存顧客のEcoOne(IaaS)利用量増加が底上げ
- SaaSも順調に伸長
M365、Dropbox(オンラインストレージ)、kintone

今後の取り組み・見通し

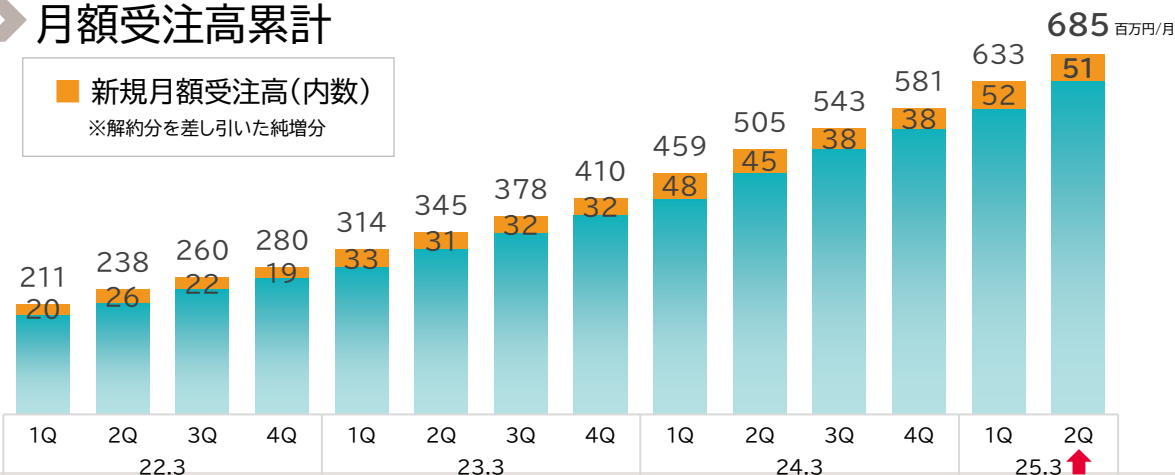
- VMware製品のライセンス価格の高騰を背景に、クラウド移行の検討企業増加
EcoOneとオンラインストレージ導入(インフラ系のSaaSサービス)が増加見込
- EcoOneコスト最適化サービスの強化と、M365、kintoneへのSaaS系運用サービスも拡充予定
付加価値提供で満足度向上・利益率向上と離反防止

中期経営計画KPI ▶ 売上高 CAGR 30%(24.3-27.3) ▶ 売上総利益率 +1pts/年

売上高



月額受注高累計



顧客需要
市場環境

- 昨今のサイバー攻撃による深刻な被害の報道を受け、お客様の**関心と投資意欲の高まり**

上期結果振り返り

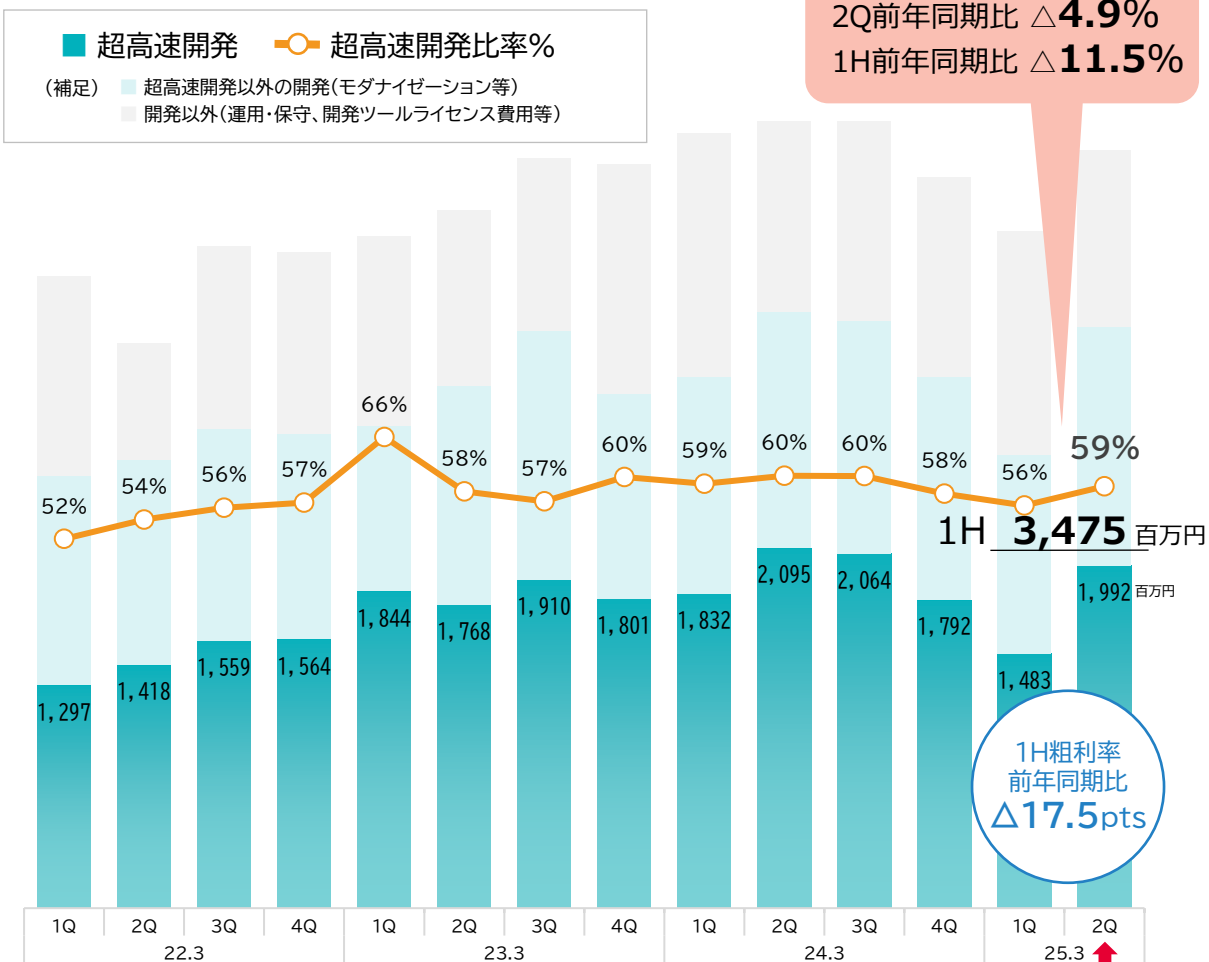
- 「クラウドセキュリティ」分野の受注が好調、**セキュリティ全体提案の推進で受注高増**
 - 月額受注高 100万円/月超の案件が3割
 - セキュリティ顧客 上期60社増
 - 既存顧客からの追加受注増
- **他社との差別化が可能で競争力のあるサービスにフォーカス**
「監査・診断サービス」や「脅威分析・対応(EDR)」も順調に伸長

今後の取り組み・見通し

- **サイバー攻撃を受けた企業からの調査・復旧依頼が増加傾向**
インシデント対応力が評価され、対策・サービスの受注が増加見込み
- **製品・サービスのポートフォリオを拡大予定**
特定セキュリティベンダーへの偏りを少なくする

中期経営計画KPI ▶ 超高速開発比率 75% ▶ 売上総利益率 +10pts (24.3-27.3)

売上高



市場環境
顧客需要

- DXに対する**投資意欲は継続的に高い状況**

上期結果振り返り

- **遅延プロジェクトの解消に向けリソース集中投入と体制強化**
 - 大型プロジェクトの新規受注を制御、注力4業種の対応に集中
 - 支援PMO体制等、組織での支援体制を再確立
 - プロジェクトの進捗・品質のマネジメントシステムを強化

2Q売上高は、1Qと比較して**+34.3%**
引き続き遅延プロジェクトの解消に取り組み、粗利率改善を含めて、今期正常化に向けて、段階的な改善へ

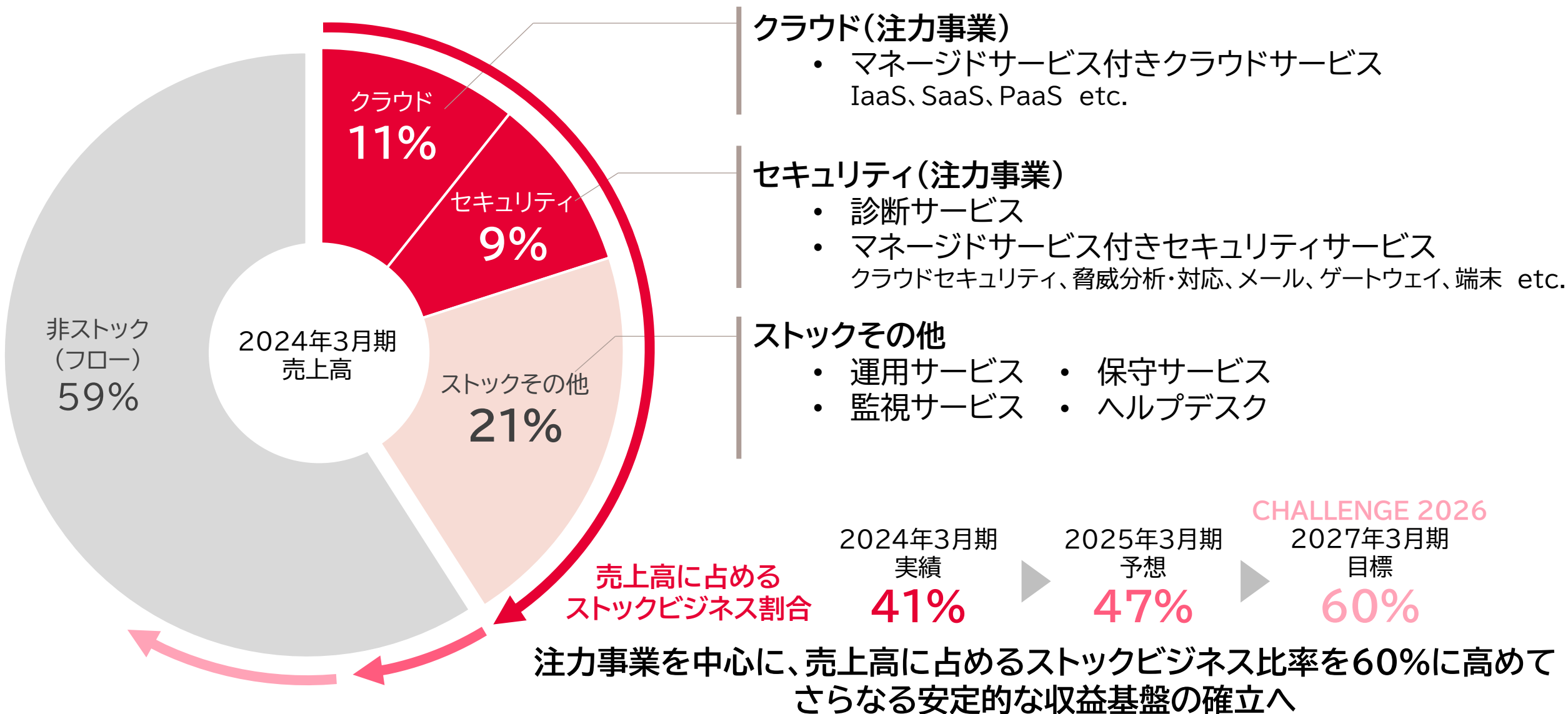
今後の取り組み・見通し

- **アセットの拡大とサービス化を推進**
 - 注力4業種でマイクロアセットサービス開発を推進（学習塾、建材業、鉄鋼業、食品業）
 - 業種・業界知識およびアセットの再利用性を高める・教育・OJTの実施強化
- **システム開発におけるAI活用の推進**
 - 現行基幹システムのソースコードの解析で活用
 - テストケースの作成で活用

(百万円)

		第1四半期		第2四半期		上期			2025年3月期 予想	CHALLENGE 2026 (25.3期～27.3期) 目標		
		実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	対予想進捗率				
ストックビジネス	クラウド	売上高	2,309	+48.5%	2,522	+45.2%	4,832	+46.8%	47.0%	10,271	売上高CAGR 36%※1	
		[参考] 月額受注高累計	740	+63.0%	842	+62.2%	同左	同左	-	955		
		売上総利益率	-	+0.4pts	-	+0.1pts	-	+0.2pts	-	-		+1pts/年
	セキュリティ	売上高	1,663	+37.6%	1,808	+36.1%	3,472	+36.8%	47.0%	7,381	売上高CAGR 30%※1	
		[参考] 月額受注高累計	633	+38.0%	685	+35.6%	同左	同左	-	777		
		売上総利益率	-	+0.3pts	-	+1.4pts	-	+0.9pts	-	-		+1pts/年
	超高速開発	売上高	1,483	△19.0%	1,992	△4.9%	3,475	△11.5%	40.2%	8,655	SI全体に占める 超高速開発比率	
		SI全体に占める 超高速開発比率※2	56.2%	△3.1pts	58.9%	△1.5pts	57.7%	△2.2pts	-	64.8%		75%
		売上総利益率	-	△38.1pts	-	△2.2pts	-	△17.5pts	-	-		+10pts
売上高に占める ストックビジネス割合		41.8%	-	44.3%	-	43.1%	-	-	46.9%	60%		

※1 前中期経営計画最終年度2024年3月期実績との比較 ※2 「SI全体に占める超高速開発比率」は、システム開発に付随する運用保守や調達を除く売上高のうち、超高速開発による割合を示します。



クラウド(注力事業)

- マネージドサービス付きクラウドサービス
IaaS、SaaS、PaaS etc.

セキュリティ(注力事業)

- 診断サービス
- マネージドサービス付きセキュリティサービス
クラウドセキュリティ、脅威分析・対応、メール、ゲートウェイ、端末 etc.

ストックその他

- 運用サービス
- 保守サービス
- 監視サービス
- ヘルプデスク

継続的な成長

- スtockビジネス比率 60%
 - ・クラウド 売上高CAGR 36%
 - ・セキュリティ 売上高CAGR 30%

CHALLENGE
2026

収益性の向上

- 売上総利益率 +3pts
 - ・超高速開発 +10pts
 - ・クラウド、セキュリティ +3pts

キャッシュフロー

- 人財への投資
- 新たなビジネス領域への投資
- 配当性向 45%以上

JBCCホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。